

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-2	蓄積車両軌跡データの効率的活用のための階層型データベースの構築	神戸大学 教授 井料 隆雅	A

<研究の概要>

近年蓄積が始まっている車両軌跡データの潜在価値は大きいですが、この種のデータは巨大かつ品質が不安定になりがちであり、ナイーブな方法で扱えば早晩破綻を見る。本研究では、品質を管理し集計単位で階層化された車両軌跡データベースを構築し、その活用例を示す。

<中間評価>

ETC2.0 データの特性と限界を明らかにすることは実務的にも有用である。データベースの構築が着実に進んでおり、今後の研究成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。

<参考意見>

1. データの品質向上に重点を置いていただくと、実用性が高くなると思われる。
2. 今年度の成果および来年度の品質改善検討結果をもとに、集計操作方法論の開発が期待される。

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。